

TOTO

小型電気温水器（元止め式）

湯ぽっと



REAH03型/REAM03型（内蔵設置タイプ）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		アースを接続せよ		必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。



警告



分解禁止

修理技術者以外の方は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない
感電や故障の原因になります。



水場での使用禁止

水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない
感電や故障の原因になります。



禁止



屋内用のため、屋外には設置しない
感電や故障の原因になります。
水・油・洗剤などがかかる位置に電源プラグ用のコンセントを設けない
感電の原因になります。
電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない
感電・火災の原因になります。
指定する電源以外では使用しない
ヒーターの断線・火災などの原因になります。
コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない
火災の原因になります。







アース接続

電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

1 安全上の注意 (つづき)

 警告	
 必ず実行	漏電遮断器を取り付ける 感電や火災の原因になります。
	開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する 段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

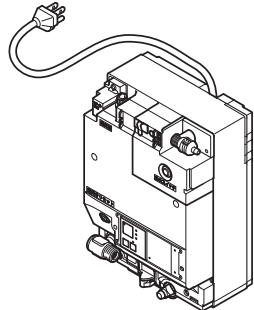

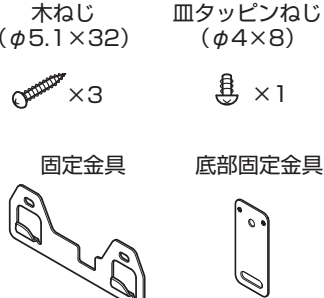
 注意	
 禁止	タンク内に水がないときは、絶対に「沸上げ運転(電源)」スイッチを入れない 空焚きとなり、故障や事故の原因になります。
	水道水以外は通水しない 井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。
	商品に強い力や衝撃を与えない 故障や水漏れの原因になります。
 接触禁止	専用水栓の吐水口にホースや浄水器などの抵抗となるものを接続しない 機器の破損や水漏れの原因になります。
	吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行う やけどをするおそれがあります。
 必ず実行	水抜きを行うときは、必ず「沸上げ運転(電源)」スイッチを「切」にする 空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。
	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。
	当商品は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防処置(保温材巻、電気ヒーターなど)を行う 凍結破損し水漏れするおそれがあります。
	必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける 凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。
	必ず専用水栓を使用する 水漏れの原因になります。

 注意	
 必ず実行	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓を閉めてから行う 水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

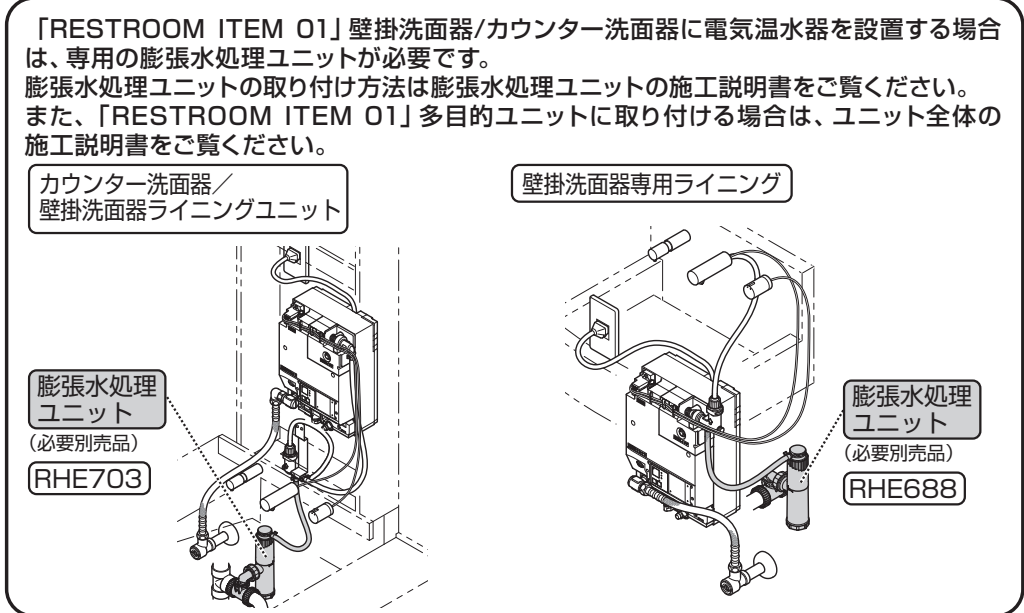
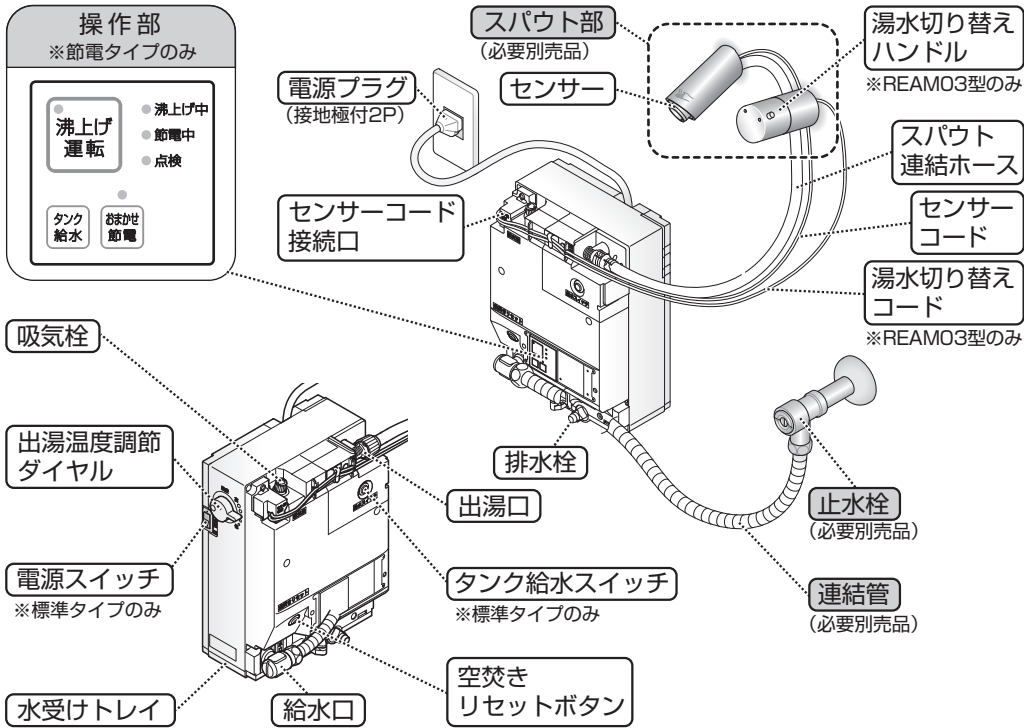
おねがい	
給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.07MPa・最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。 (0.07MPa未満で使用すると流量が少なくなります。)	
取扱説明書内の保証書に、取付店または販売店名およびお引渡し日を必ず記入してください。	
必ずフィルター付きアングル形止水栓(必要別売品)を取り付けてください。	
給水管にはフレキシブル管をご使用ください。 (鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り、作動不良を起こす場合があります。)	
空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。	
天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。	

2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

①電気温水器本体	②水抜きチューブ、 取扱説明書(保証書付)、 施工説明書、自動吐水ラベル	③取付金具類
 図は節電タイプ	 L=300mm 取扱説明書 施工説明書(本紙) 自動吐水ラベル 操作位置説明ラベル	 木ねじ(φ5.1×32) ×3 皿タッピングねじ(φ4×8) ×1 固定金具 底部固定金具

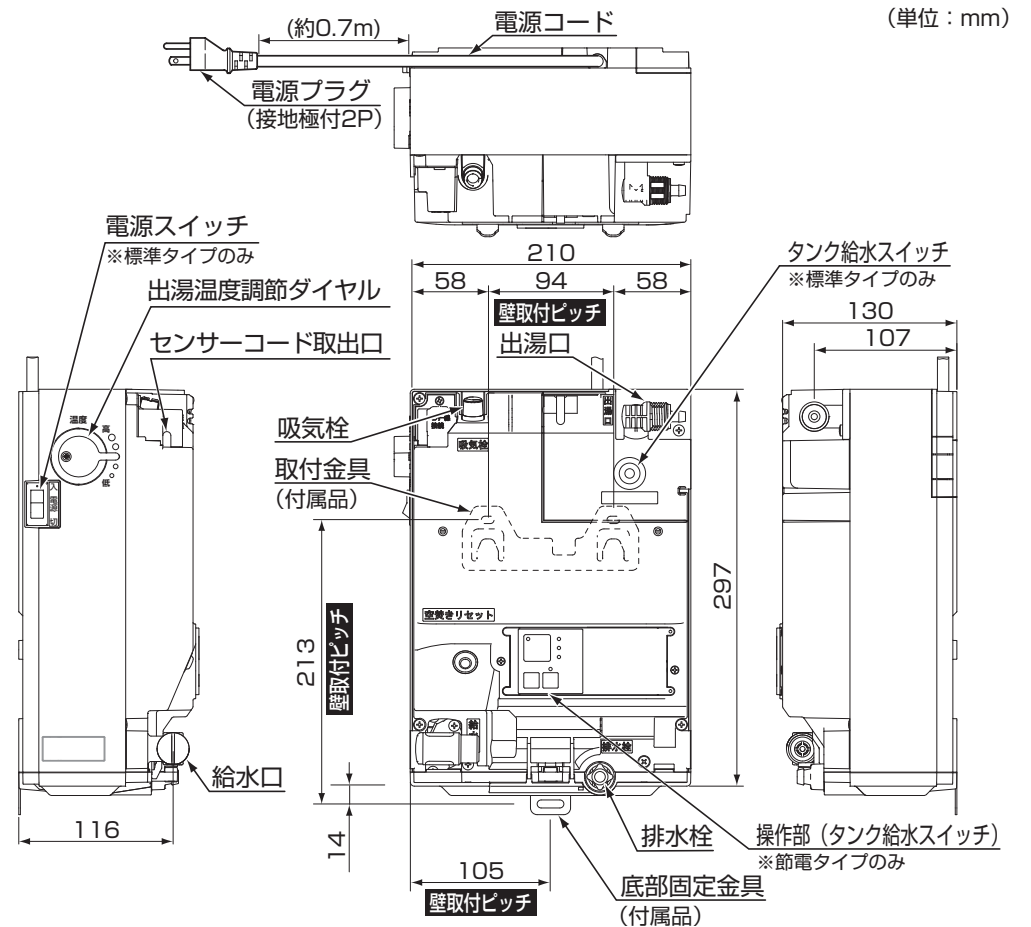
3 各部の名称




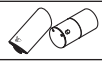
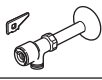
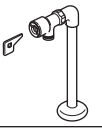
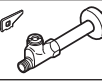
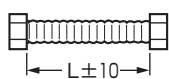




4 仕様

- 給水方式 : 元止め式
 - 出湯温度 : 約36℃ (ただし出湯温度調節ダイヤルで調節可能)
※給水温度約15℃、ハンドル位置センターの場合
 - 出湯温度調節範囲の目安 (給水温度 約 5℃) : 約31~約35℃
(給水温度 約15℃) : 約32~約38℃
(給水温度 約25℃) : 約32~約37℃
 - 沸き上げ温度 : 約75℃ (おまかせ節電保温時 約60℃または約55℃)
 - 安全装置 : 手動復帰式パイメタル 温度ヒューズ
 - 商品質量 (満水時) : 約4.5kg (約7.0kg)
 - 使用环境温度 : 1~40℃ (※1)
 - 最低必要水圧 (流動時) : 0.07MPa (※2)
 - 最高水圧 (静止時) : 0.75MPa (※2)
- (※1) 环境温度、および水温が高い場合は、使用环境温度範囲内においても一瞬設定温度よりも高温の湯が出る場合もあります。
- (※2) ハイバック洗面器ライニングユニットセット時の最低必要水圧(流動時)は、0.1MPaです。

5 寸法図



6 別売品一覧 ★は必要別売品です。

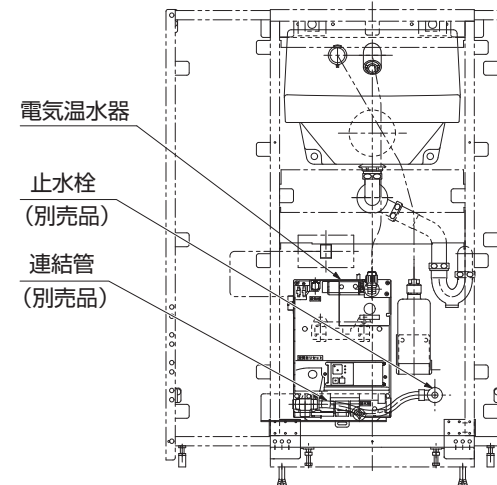
品名	形状	品番	備考
★スパウト (ハイバック洗面器用)		TEN120AH型 (ポップアップなし)	専用自動水栓 電気温水器の (定流量弁交換必要)
		TEN120ABH型 (ポップアップなし、ハイパー泡まつ)	
★アングル形 止水栓		TL347CU	給水用フィルター付 壁給水用 開閉工具付
		TL347C2R	給水用フィルター付 床給水用 開閉工具付
★ストレート形 止水栓		TL348CU	給水用フィルター付 開閉工具付
★連結管		RHE436-15	L=150mm
		RHE436-20	L=200mm
		RHE436-30	L=300mm
		RHE436-35N	L=350mm
		RHE436-40	L=400mm
		RHE436-45N	L=450mm
		RHE436-50	L=500mm
膨張水処理 ユニット		RHE678	<対応スパウト> ハイバック洗面器用
		ホース長さ L=800 排水管 接続径 φ32	
★膨張水処理 ユニット	詳細は、右記 品番の施工 説明書をご覧 ください。	RHE703	RESTROOM ITEM 01 カウンター洗面器用
		RHE688	RESTROOM ITEM 01 壁掛洗面器専用ライニング用
		RHE696	RESTROOM ITEM 01 壁掛洗面器ライニングユニット用
分岐金具		RHE648	給水用分岐金具 機器収納ボックスに2台設置する 場合の給水用の分岐金具です。
出湯エルボ		RHE697	機器収納ボックス 下側設置用
ウィークリー タイマー		RHE658R	凍結防止機能の付いたタイマー 節電タイプの場合、ウィークリータイ マーとのセットはできません。

7 設置条件／施工例

【施工例 (ライニングパーツ)】

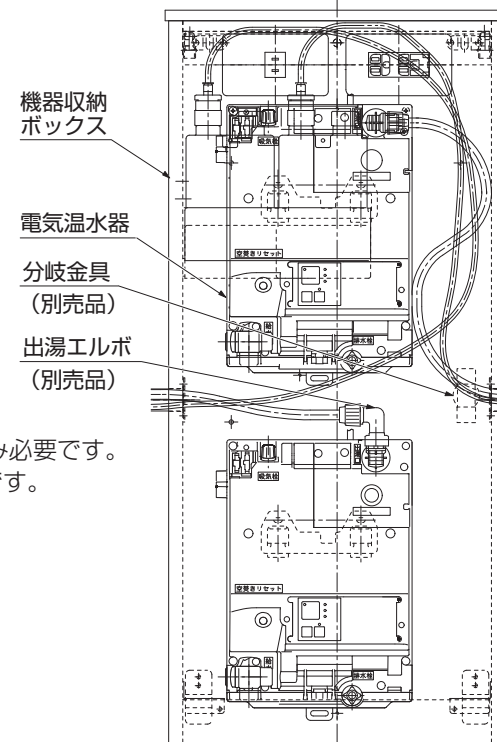
ライニングパーツに電気温水器を設置する場合は、ライニングパーツに同梱している図面をご覧ください。

※本体天面と障害物との距離は、50mm以上を確保してください。
※電気温水器設置の場合は、必ずライニングパーツ点検口タイプを設置してください。



【施工例 (機器収納ボックス)】

機器収納ボックスに電気温水器を設置する場合は、機器収納ボックス全体の施工説明書をご覧ください。



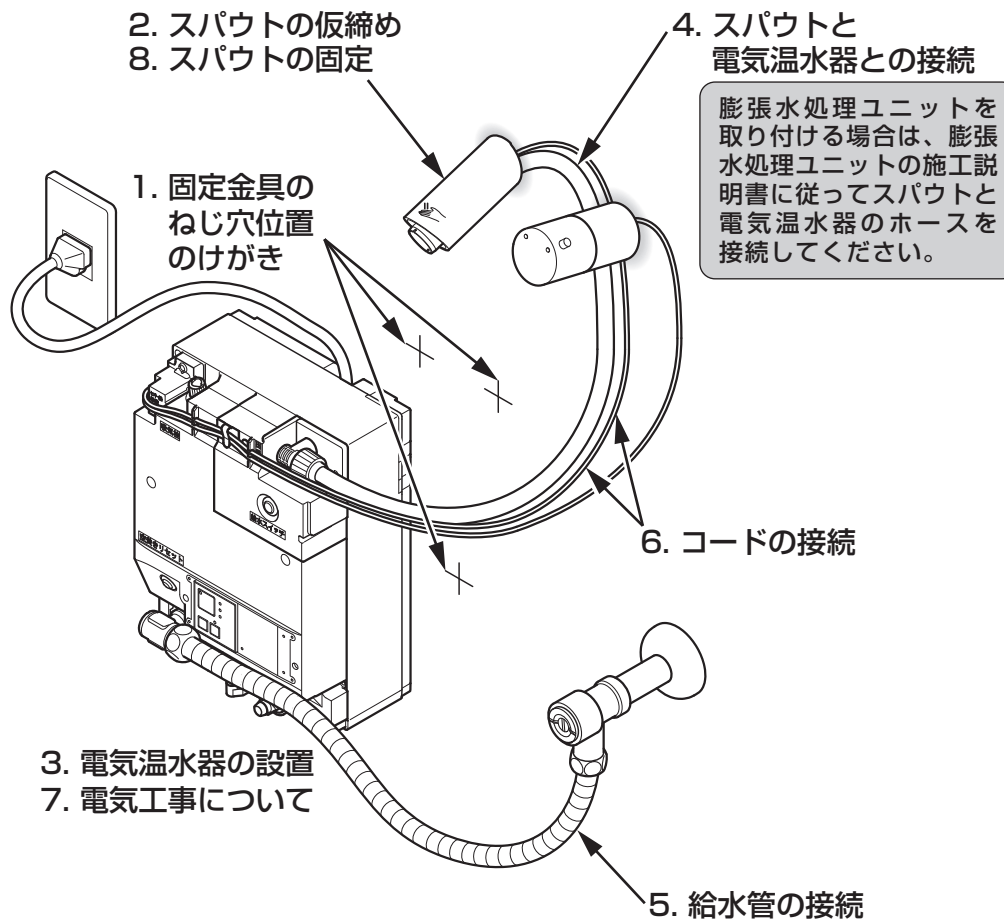
※出湯エルボは、下側設置の電気温水器にのみ必要です。
※電気温水器1台の場合、分岐金具は、不要です。

※上側の電気温水器は右側洗面器用、下側の電気温水器は左側洗面器用となります。
※電気温水器が1台の場合は、洗面器の左右にかかわらず、**上側に設置**します。

8 取付手順

注意 施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。

取付手順は以下の通りです。
※図はTEN120AH型とセットの場合

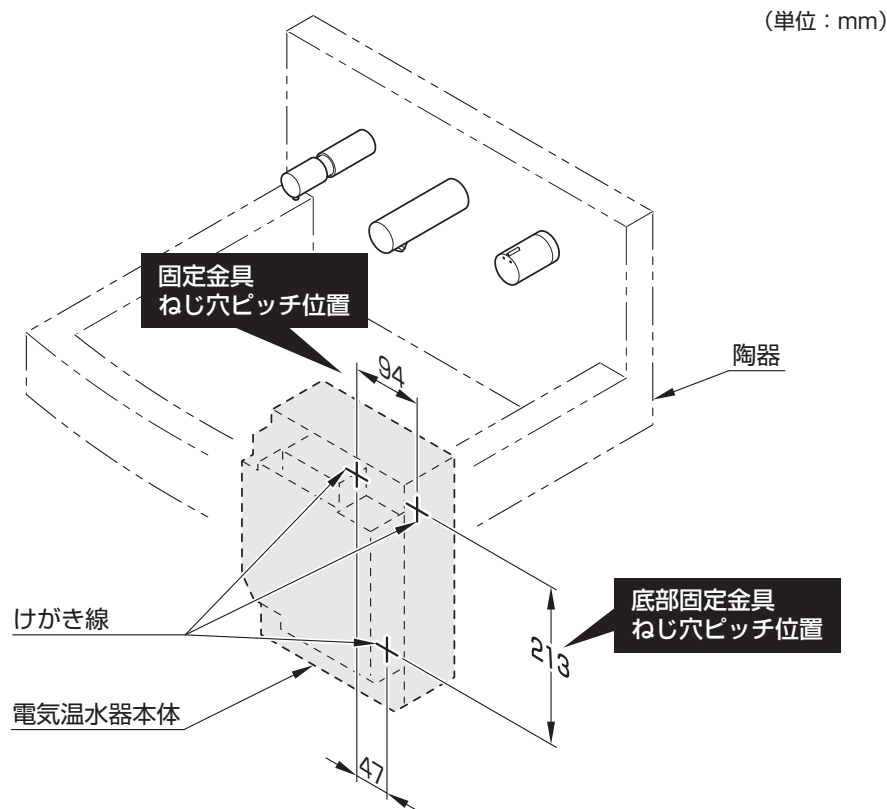


1. 固定金具のねじ穴位置のけがき

電気温水器本体の固定位置を決め、「5.寸法図」を参考に、壁に固定金具および底部固定金具のねじ穴位置をけがく。

下記に電気温水器を取り付ける場合は、それぞれの施工説明書、図面に従ってねじ位置をけがいてください。

- ・ 機器収納ボックス
- ・ ライニングパーツ
- ・ RESTROOM ITEM 01 カウンター洗面器
- ・ RESTROOM ITEM 01 壁掛洗面器専用ライニング
- ・ RESTROOM ITEM 01 壁掛洗面器ライニングユニット

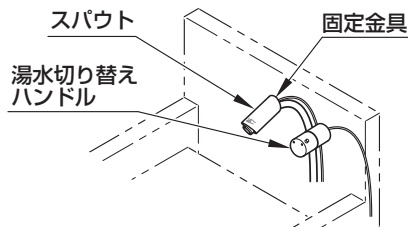


注意 必ず商品の天底の位置を守って施工してください。
(逆さ、横置き、寝かせ置きにすると十分な出湯性能が得られません。)

8 取付手順 (つづき)

2. スパウトの仮締め

注意 施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。



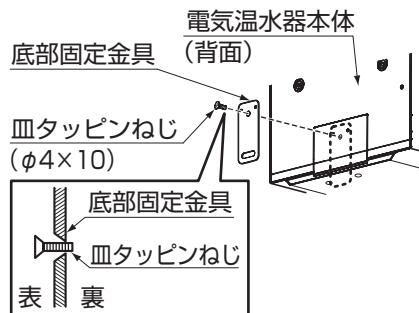
スパウトの施工説明書をご覧ください。

- ①固定金具の取り付け
- ②スパウトの取り付け
- ③湯水切り替えハンドルの取り付け

注意 スパウト連結ホースとコード類をかみ込まないようにしてください。

3. 電気温水器の設置

注意 電気温水器本体を床に直置きすると、傷が付くおそれがあります。梱包の緩衝材を床に敷くなどして作業を行ってください。

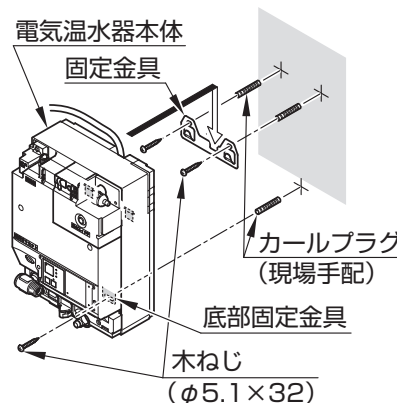


(1) タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合

①ねじ穴位置に下穴を開けカールプラグ(現場手配)を打ち込む。

※カールプラグは木ねじ(φ5.1×32)に合うものを手配してください。

②電気温水器本体に底部固定金具を皿タップピンねじ1本で固定する。



注意 電動ドライバーなどを使わずに、手で締め付けてください。

底部固定金具は表と裏を間違えないようにしてください。

③固定金具を位置にあわせて木ねじ2本で固定する。

④固定金具へ電気温水器本体を引っ掛け、底部固定金具を木ねじ1本で固定する。

(2) 木製の壁材に取り付ける場合

商品満水時の質量(約7Kg)に耐えうる構造(乾式工法の場合、取付強度を保つため、下地に12mm以上のJAS規格合板相当をお使いください)であることを確認し、固定金具を木ねじ2本で固定し底部固定金具を木ねじ1本で固定する。また、必要に応じて壁構造に応じた十分な補強を施す。

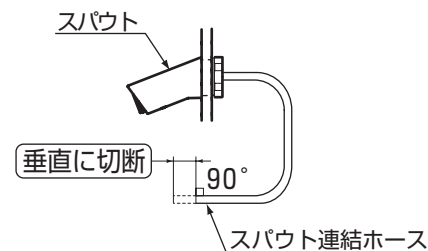
注意 本体が水平になるように取り付けてください。
電源コードのかみ込み、エッジ部への接触などに注意してください。

4. スパウトと電気温水器との接続

4-1. スパウト連結ホースの切断

スパウト連結ホースを電気温水器の接続口に合うように適切な長さに切断する。

注意 カッターなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。



4-2. 定流量弁の交換

ハイバック洗面器用のスパウトの場合とハイパー泡まつタイプのスパウトを使用する場合は、スパウトに同梱されている定流量弁に交換してください。

ハイバック洗面器用			RESTROOM ITEM 01 壁掛洗面器用	
通常吐水タイプ	ハイパー泡まつ	湯水切り替え	通常吐水タイプ	湯水切り替え
TEN120AH型	TEN120ABH型	TEN122AH型	TEN116型	
スパウト同梱の定流量弁に交換			交換不要	

〈定流量弁交換方法〉

- ①フィルターキャップをスパウトに同梱している開閉工具で左に回して外す。
- ②フィルター先端についている定流量弁を取り外し、スパウトに同梱されている定流量弁を取り付ける。
- ③フィルターキャップを取り付ける。



8 取付手順 (つづき)

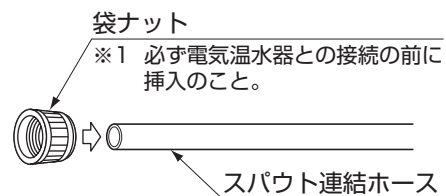
4-3. スパウト連結ホースの接続

- ①スパウト連結ホースに袋ナットを通す。^{※1}
- ②ホースを出湯口に差し込む。
- ③袋ナットを**手で締め付ける**。

※ホースが確実に差し込まれていることを確認してください。

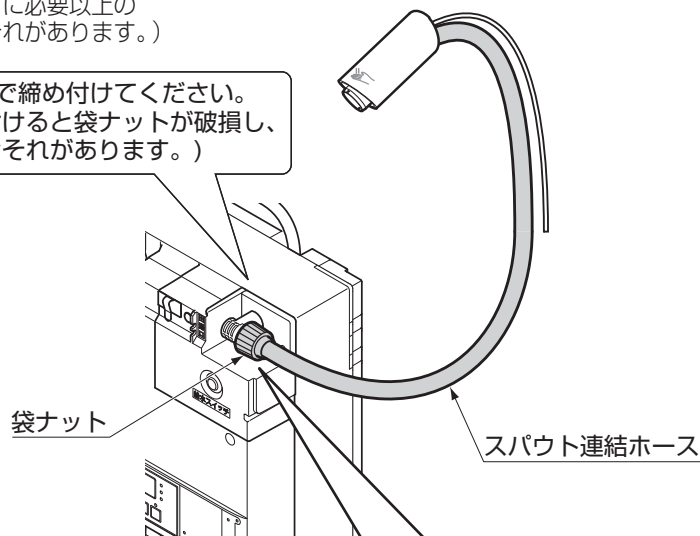
※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。

(流量が低下したり、タンクに必要な以上の圧力がかかり破損するおそれがあります。)



注意

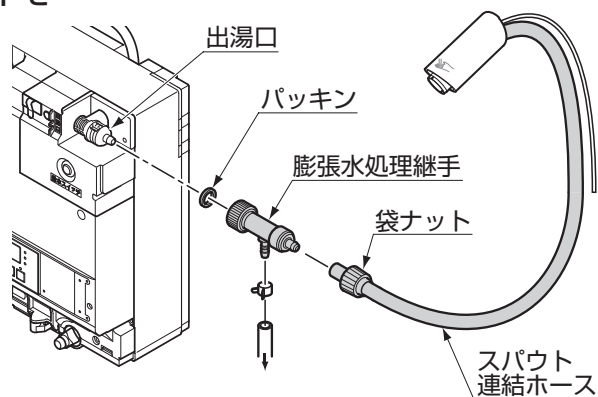
袋ナットは手で締め付けてください。(工具で締め付けると袋ナットが破損し、水漏れするおそれがあります。)



別売品の膨張水処理ユニットを取り付ける場合

膨張水処理継手を取り付けてから、スパウト連結ホースを取り付けてください。

※詳しくは膨張水処理ユニットの施工説明書をご覧ください。



※上図は、膨張水処理ユニットRHE678を取り付ける場合

5. 給水管の接続

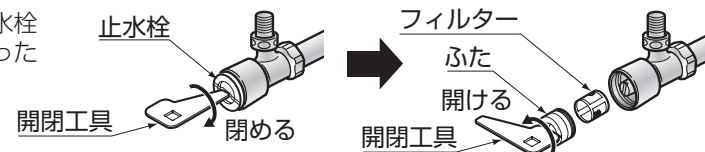
注意

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる
フィルターを通したゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。



フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓を閉めてから行う
水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

給水口に接続する前に止水栓
フィルターの網目に詰まった
ゴミなどを取り除く。

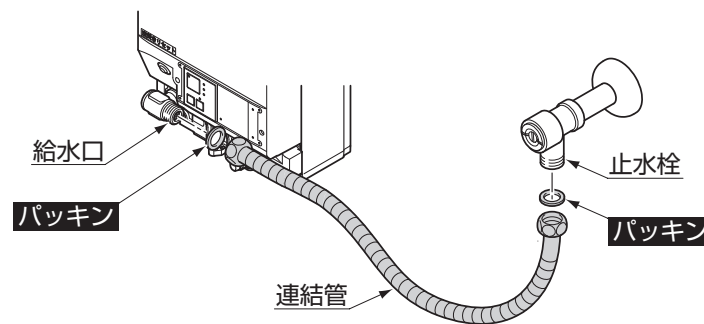


止水栓と給水口を連結管で接続する。

注意

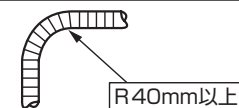
電気温水器と止水栓の接続はフレキシブル管を使用してください。(鋼管などで接続されるとシール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。)
必ずパッキン(図示)を入れてください。

建築躯体側の配管接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取り付けないでください。
(接着剤が乾いていない状態で湯を通すと湯がにおうことがあります。必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。)



注意

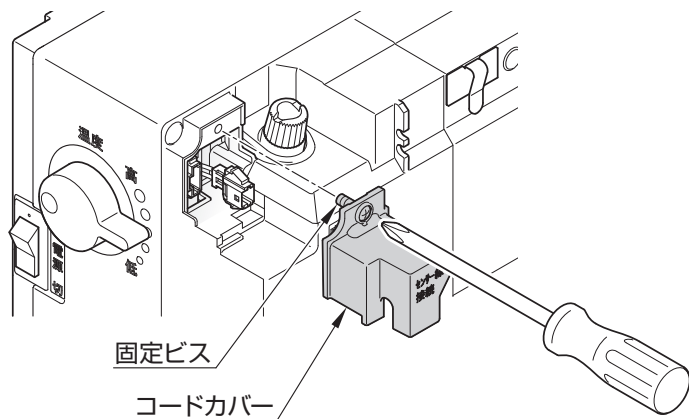
連結管は、極端に折らないでください。(R40mm以上は確保してください。)



8 取付手順 (つづき)

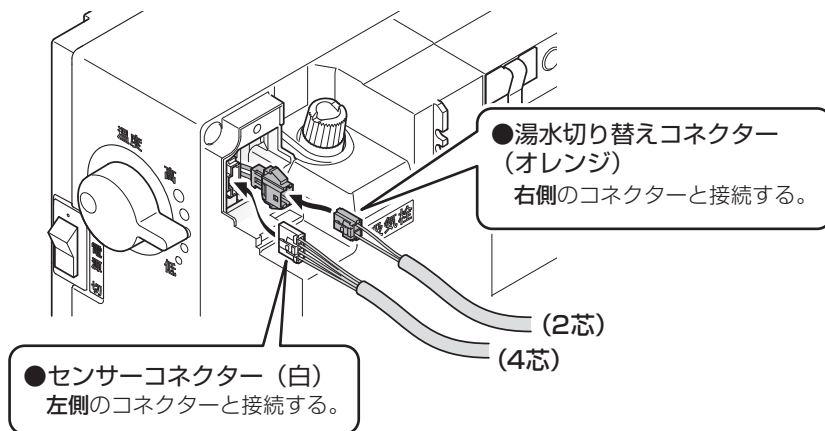
6. コードの接続

①コードカバーを取り外す。



②スパウトのコネクターを電気温水器のコネクターに接続する。

注意 コネクターはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。



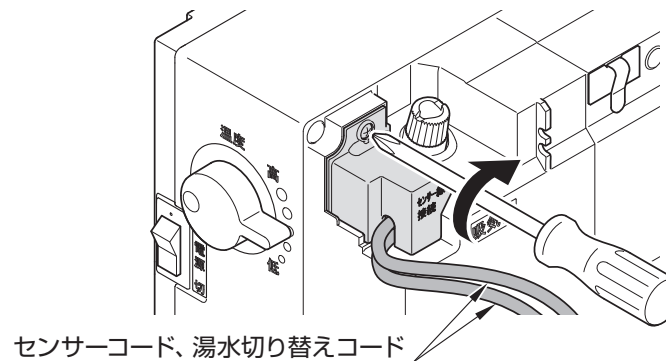
適温出湯タイプの場合

REAH03型のコードは、センサーコード (4芯) 1本です。

湯水切り替えタイプの場合

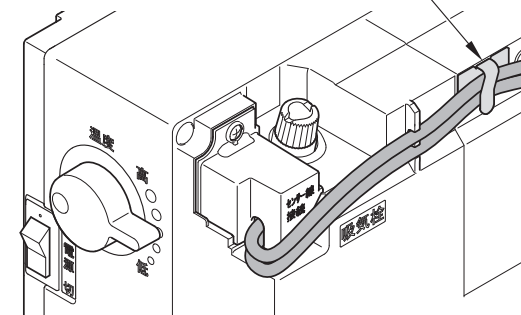
REAM03型のコードは、センサーコード (4芯)、湯水切り替えコード (2芯) 2本です。

③コードカバーの切り欠き部からコードを取り出し、固定ビスでコードカバーを固定する。



④センサーコード、湯水切り替えコードをコードクランプで固定する。

コードクランプ



8 取付手順 (つづき)

7. 電気工事について

⚠ 警告	
	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
	漏電遮断器を取り付ける 感電や火災の原因になります。

- 1) 電源が規定の電圧であることを確認する。
※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 2) 接地極付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

対応コンセント	電 圧	消費電力
パナソニック：WK3001W (露出型) WF3002EK (埋込み型)	AC100V	0.6kW

8. スパウトの固定

8-1. 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 注意	
	タンク内に水がないときは絶対に「沸上げ運転(電源)」スイッチを入れない 空焚きとなり、故障や事故の原因になります。
注意	電源が入るとただちにスパウトセンサーの感知距離を自動設定するため、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します。)

8-2. センサー内ランプの確認

センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウト先端のセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。

※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。



●確認が終わったら電源プラグを抜いてください。

注意 陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがあります。その場合はそのまま設定してください。(ランプの点滅は10分後に消えます。)

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動消滅するまでにスパウトの向き調整作業が完了しなかった場合は、センサーコネクターを一度抜き、差し込み直してください。

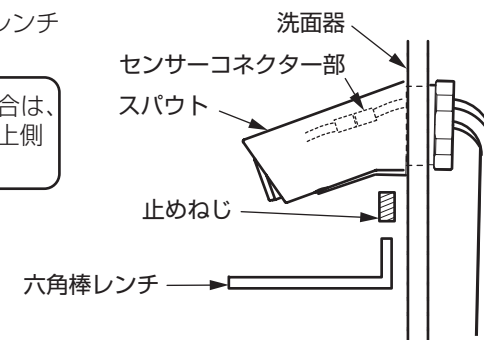
8-3. スパウトの固定

六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定する。

注意 スパウトを固定する際は、必ず陶器のボウル面中心に向けてください。
クリーンドライ(温風乾燥器)などとのセットではクリーンドライのセンサービームが陶器内に入らないように、それぞれを離してセットしてください。
※インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。

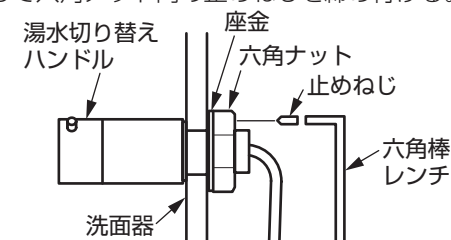
スパウトを洗面器面に密着させ、付属の六角棒レンチを使用して止めねじで固定する。

注意 スパウトが洗面器面に密着しない場合は、センサーコネクターをスパウトの上側奥まで入れてください。



8-4. 湯水切り替えハンドルの固定 (湯水切り替えハンドル付きのみ)

付属の六角棒レンチを使用して六角ナット内の止めねじを締め付ける。



9 試運転

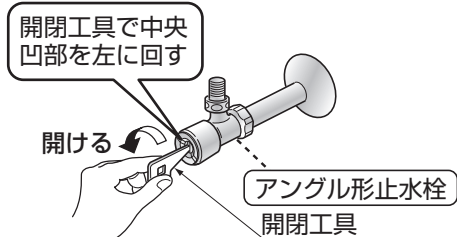
⚠ 注意



タンク内に水がないときは絶対に「沸上げ運転(電源)」スイッチを入れない

空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

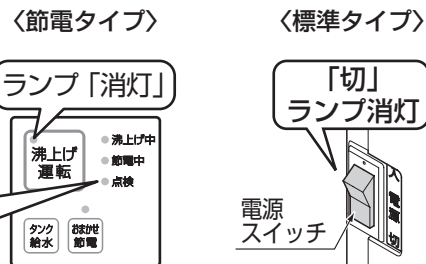
① 付属の開閉工具で止水栓を開ける。



② 電気温水器の電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む。



③ 「沸上げ運転(電源)」スイッチが「切」になっていることを確認する。



※ 試運転中に点検ランプが「点滅」した場合は、P.12「水漏れリセット方法」の手順に従って、リセットしてください。

注意

給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。(水からにおいがするおそれがあります。)

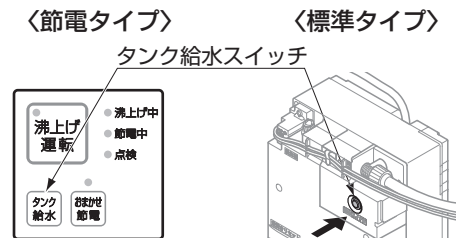
止水栓が開いた状態で電気温水器の電源プラグをコンセントに差し込むと5秒間吐水する場合がありますが、異常ではありません。

④ タンク給水スイッチを押してタンクを満水にする。

注意

節電タイプの場合、電源プラグをコンセントに差し込んだあと、約10秒待ってタンク給水スイッチを押してください。

スパウトに湯水切り替えスイッチ、湯水切り替えハンドルがある場合は湯側にしていることを確認のうえ、タンク給水スイッチを押してください。(水側になっている状態ではタンク給水スイッチを押しても、タンクへの給水を行いません。)



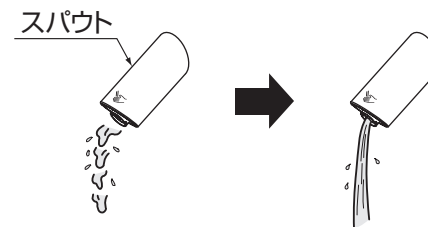
空焚き禁止

(タンクが満水になる前に「沸上げ運転(電源)」スイッチを「入」にしない)

タンク給水中は、空気を巻き込んだ状態でスパウトから断続的に吐水します。

満水状態になると吐水状態は安定します。(満水になったら、再度タンク給水スイッチを押し、水を止めてください。)

※ 万一、空焚きした場合にはP.11「空焚きリセット方法」の手順に従って、リセットしてください。



満水になるまでには、約2分程かかります。

注意

タンク給水スイッチを押すと約5分間連続して水が出ます。(途中で再度スイッチを押すと、水は止まります。) 約1分間しか水が出ない場合は電源プラグをコンセントより抜いて、5秒程度してから再度、電源プラグをコンセントに差し込み、タンク給水スイッチを押してください。

吐水状態が安定する前に水が止まったら、再度タンク給水スイッチを押して水の出方を安定させ、タンクを満水にしてください。

9 試運転 (つづき)

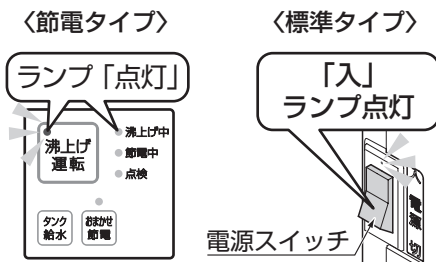
⑤スパウトの動作確認をする。

<センサーを使った場合>

- ・吐水口に手を近づけると水が出ます。
- ・手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
- ・手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
- ・センサー前面から感知する位置に手をかざしたままにすると、その間(約1分間)連続して水が出ます。
(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないまましていると約15秒で水が止まります。)

⑥配管接続部に水漏れがないことを確認する。

⑦「沸上げ運転(電源)」スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。

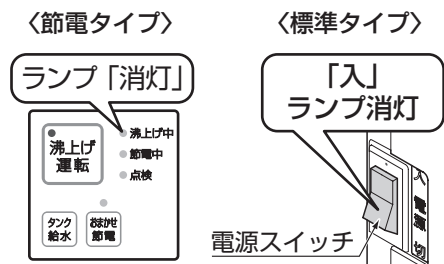


スパウトからポトポト滴下する水について

沸き上げ中はスパウトから湯が出ます。
これはタンク内部の膨張水を排出しているもので、故障ではありません。
沸き上げが終わると、膨張水の排出は止まります。

⑧沸き上がると、沸上げ中ランプ(節電タイプ)および電源スイッチのランプ(標準タイプ)が消灯します。

※沸き上がり時間の目安は、下表を参照ください。



<沸き上がり時間の目安>

給水温度	5℃(冬)	15℃(春・秋)	25℃(夏)
沸き上がり時間の目安	約21分	約18分	約15分

空焚きリセット方法

<節電タイプ>

※万一空焚きした場合は、操作部のランプが点滅または点灯します。
その場合は、以下の手順で空焚きをリセットしてください。

操作部のランプ表示	処置
	<ol style="list-style-type: none"> ①止水栓が開いていることを確認する。 ②「タンク給水」スイッチを押す。 ※点滅が解除され、タンクに水が給水されます。 ③タンク内が満水になったことを確認する。 (P.10「試運転」④を参照) ④「沸上げ運転」スイッチを押し、「入」にする。 ※沸上げ運転が開始されます。
	<ol style="list-style-type: none"> ①止水栓が開いていることを確認する。 ②電源プラグを抜く。 ③タンク内の温度を下げるため、約20分そのままにしておく。 ④空焚きリセットボタンを押す。 <ol style="list-style-type: none"> ⑤電源プラグをコンセントに差し込む。 ⑥約10秒待ち、「タンク給水」スイッチを押す。 ⑦タンク内が満水になったことを確認する。 (P.10「試運転」④を参照) ⑧「沸上げ運転」スイッチを押し、「入」にする。 ※沸上げ運転が開始されます。

9 試運転 (つづき)

空焚きリセット方法

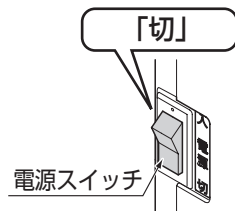
〈標準タイプ〉

※万一空焚きした場合は、電源スイッチを「入」にしてもランプが点灯しません。
その場合は、以下の手順で空焚きをリセットしてください。

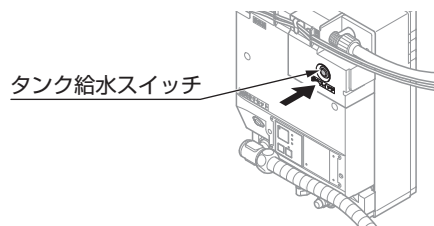
① 止水栓が開いていることを確認する。



② 電源スイッチを「切」にする。

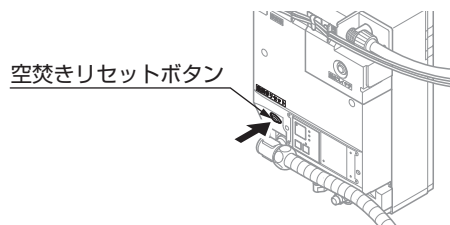


③ 「タンク給水」スイッチを押す。



④ タンク内が満水になったことを確認する。
(P.10 「試運転」④を参照)

⑤ 空焚きリセットボタンを押す。



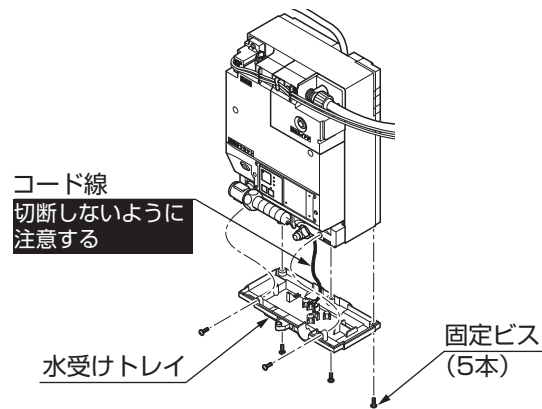
⑥ 電源スイッチを「入」にする。
※沸上げ運転が開始されます。

水漏れリセット方法

〈節電タイプのみ〉

※万一水受けトレイに水が入ると、「沸上げ中」「点検」のランプが同時に点滅し、ブザーが鳴ります。そのときは、以下の手順で水漏れ検知機能をリセットしてください。

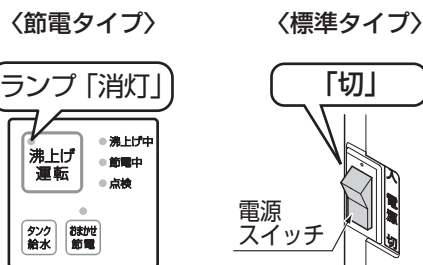
- ① 電源プラグを抜き、ブザーが鳴り止むまでお待ちください。(10秒程度)
- ② 水漏れの原因を調べて対応してください。
- ③ 水受けトレイを下側に外す。
- ④ トレイ内にたまった水を捨てたあと、乾いた布などでトレイをふいてください。
- ⑤ 機台内・機台外からの水漏れがないことを確認したあと、水受けトレイを元の位置に戻し、固定ビスを締める。



10 水抜き方法

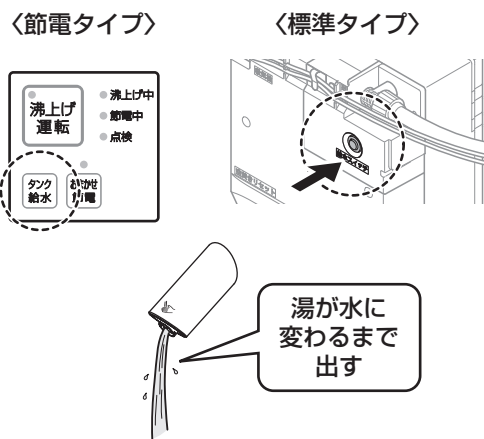
試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

①「沸上げ運転(電源)」スイッチを「切」にする。

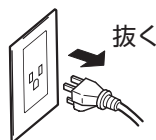


②タンク給水スイッチを押してスパウトより湯を出し、タンク内の湯が水になるまで完全に出し切る。

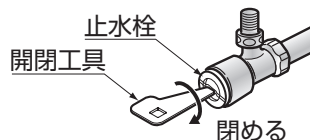
※途中で湯の温度を確認し、スパウトから水が出るまで湯を出してください。
 ※水が出る前に湯が止まったら再度タンク給水スイッチを押し湯を出し切ってください。
 ※水になったら再度タンク給水スイッチを押し、吐水を止めてください。



③電源プラグを抜く。



④止水栓に付属の開閉工具で止水栓を閉める。

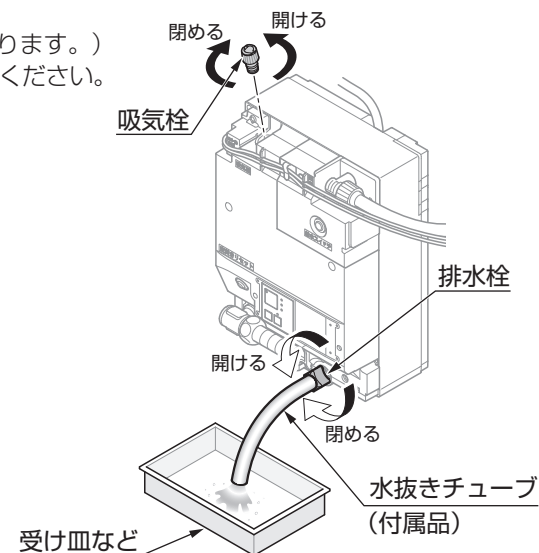


⑤下部にある排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、左に回し、電気温水器上部にある吸気栓を左に回して取り外す。

⚠ 注意

吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行う
 やけどをするおそれがあります。

※排水が止まると水抜きは完了します。
 (タンクが満水の時、水抜きは約2分かかります。)
 ※水抜きする際は、必ず受け皿などで受けてください。
 (排水量は約3Lです。)



11 水抜き後の処理

- ①排水栓を閉める。
 - ②吸気栓を取り付けて閉める。
- ※排水栓、吸気栓が閉められていないと、スパウトからの吐水時に水が飛び出します。

⚠ 注意

当商品は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防処置(保温材巻、電気ヒーターなど)を行う
 凍結破損し水漏れするおそれがあります。